

1. 平成 28・29 年度の地域医療構想調整会議開催時期・概要

時 期	テ ー マ	備 考
平成 28 年 11 月 7 日 (月) 18:00~19:30	(1) 滋賀県地域医療構想および調整会議について (2) 平成 27 年病床機能報告結果等 (3) 地域医療介護総合確保基金	医療構想の基本方針・方向性の確認。 圏域に適した医療機能の維持と在宅医療の推進に向けた議論をしていくことの確認。
平成 29 年度 第 1 回 8 月 4 日 (金) 18:00~19:30	(1) 2025 年を見据えた医療と介護の提供体制 ① 在宅医療の需要見込み ② 滋賀県保健医療計画 (基本方針)・介護保険事業計画 (2) 目指すべき医療提供体制の実現について ① H28 年度病床機能報告 ② 医療機能調査結果概要 (医療分) (3) H30 年度地域医療介護総合確保基金 (医療分)	H29 年度より、委員に介護関係者を追加 医療と介護の協議の場としても開催 (保健医療計画・介護保険事業(支援)計画の同時改定)
平成 29 年度 第 2 回 11 月 27 日 (月) 18:00~19:30	(1) 滋賀県保健医療計画 (素案) (2) 目指すべき医療提供体制の実現に向けて ～医療機能の分化・連携、慢性期機能について～	医療機能の分化・連携の協議の中で、特に圏域の課題である慢性期患者の圏域外流出に関することを論点とする
平成 29 年度 第 3 回 平成 30 年 3 月 1 日 (木) 14:00~16:00	(1) 目指すべき医療提供体制の実現について ① これまでの協議経過・論点整理 ② 目指す全体像の共有 ③ 慢性期・在宅医療の現状と見通しの意見交換 (2) 今後の方向性・進め方	慢性期機能・在宅医療の検討を進めつつ、地域包括ケアの推進をめざし、バランスの良い医療機能の強化と、連携推進をめざすことを共有する

2. 地域医療構想調整会議で出された課題の整理

① 慢性期機能について

- ・ 区域内完結率が 22.9%と低い (湖東区域・東近江区域・近隣府県への流出) 推計
- ・ 区域内療養病床の利用率は 53.2%と、全国平均 (89.9) 県平均 (90.6) に比して低い。
- ・ さらに議論を深めるためには、流出患者の量・状態像・流出先等と、受入れ資源や量等 (需要と供給) のバランス等について協議し、圏域での受入れの可能性や今後の見通しについて、引き続き共有していく必要がある。

② 回復期機能について

- ・「回復期の需要は今後増える」という推計ではあるが、患者の流れや病棟稼働率、他の病棟内での回復期患者の受入れ状況等（例 病床機能報告は、病棟単位の報告であることから、急性期で報告されている病棟にも回復期の患者が含まれる可能性がある など）の実情を振り返り、圏域における需要と供給の検討が引き続き必要。

③ 在宅医療について

- ・湖北圏域では、訪問診療実施率は、早くから他圏域より高い。また、在宅（自宅・施設）看取りも、早くから県内他圏域と比べて非常に高い。
- ・将来的に、在宅医療実施医師の高齢化や後継者不足が危惧される。
- ・在宅医療供給の可能性にかかる現状、および将来見通しの把握も必要。
- ・在宅医療を支えるためのバックアップ体制にかかる検討も引き続き必要。

④ 人材育成について

- ・医師をはじめとする医療・介護の人材不足が、病床利用率や施設介護・在宅介護にも影響している。
- ・人材育成、確保とともに、人的資源の連携等のあり方の検討が必要。

3. 今後の方向性

目標：圏域における医療機能分化・連携の推進と、地域包括ケアシステムの充実

- ・目標に向けて、それぞれの役割・機能を関係者間で共有し「各機関で強化すべきこと」「圏域全体で取り組むべきこと」の議論を継続して行う。
- ・具体的に進める上で、地域医療介護総合確保基金（医療分）の活用を、圏域として検討し、提案する。
- ・圏域の目指す全体像を念頭に置きつつ、入院医療・在宅医療・看取り等分野ごとに、テーマを絞りつつ、調整会議や必要に応じて意見交換会等を設けながら、包括的地域ケアシステムの推進を目指す。

4. 平成 30 年度以降の予定

①地域医療構想調整会議の進め方について（別紙参考資料 県庁担当者会議資料抜粋）

②湖北圏域地域医療構想調整会議の開催

回数：概ね 2回／年 程度

時期：概ね 7月 ・ 11～12月 他

内容：上記「今後の方向性」に沿って、委員および関係者の意見を十分に反映

③医療構想調整会議以外の協議や意見交換の場

- ・各機関、団体が実施する「連携・調整にかかる会議」や「研修」等と、十分に協働、連動を図る
- ・必要に応じて、意見交換会・情報交換会・懇談会等で共有や調整を行う